

走行中の映像と運転状況を 高画質[最大130万画素]で記録します。

ドライブレコーダーシステム「DRS1100」とは

- ✓自動車のフロントガラスに装着し、走行中の前方映像と運転状態をSDカードに記録する装置です。
- ✓SDカードに記録されたデータは付属のソフトによりパソコンで確認できますので、各種の分析ができます。
- ✓本システムのソフトウェアは、SDカードを本体にセットし、電源を入れる事により自動的にSDカードにインストールされますので、どなたでも簡単に操作できます。※SDメモリーカードの装着および取り出しは、電源が入っていないことを確かめてから行ってください。

記録が残る安心感

万が一事故にあった際の記録映像と録音は、証拠映像として事故の迅速な解決に役立てることが出来ます。

安全運転意識の向上

速度・急ブレーキ・急発進等の運転状態が記録されますので、ドライバーの安全運転意識が向上し、事故の減少につながります。

多目的な活用

常時録画が可能のため、旅先でのドライブ記録や簡易的な監視用カメラとしても利用出来ます。

走行状況の確認

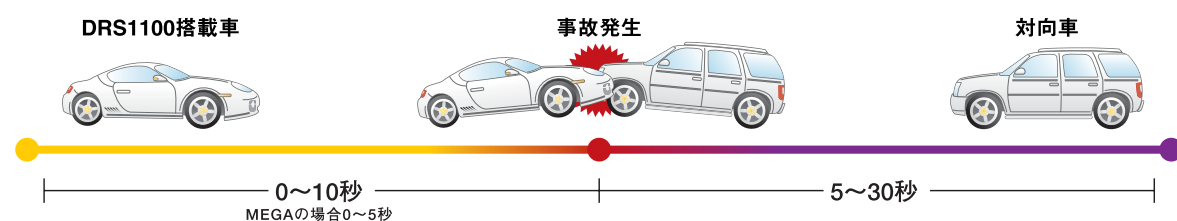
GPSを搭載しているので、走行状況(緯度・経度・時間・速度)をパソコン上のビューソフト(X-DRIVEN)で確認できます。

装着が簡単

本体をフロントガラス(運転時の視界を妨げない所)に装着、電源プラグをシガーソケットに挿し込むだけの手軽さ。



事故前と事故後の画像を記録！
記録したデータは、別ファイルとして保存



多彩な機能

①GPS機能

本体内蔵のGPS機能を利用して、緯度・経度・速度・時間などの情報をビューソフト(X-DRIVEN)で確認できます。

③録画画素数の選択・設定

QVGA(320×240 1～30コマ/秒)、VGA(640×480 1～30コマ/秒) MEGA(1280×960 1～5コマ/秒)の3つから選択でき、録画画質、録画コマ数もそれぞれ設定できます。

⑤録画方法の選択・設定

「イベント録画」「イベント+常時録画」の何れかを選択して設定が出来ます。

②3次元センサー搭載

X(前後)・Y(左右)・Z(上下)の各衝撃を、0.1～3.0Gの範囲で設定が可能です。

④録画保持時間の設定

プリイベント(アクシデント発生前:0～10秒) MEGAの場合0～5秒とポストイベント(アクシデント発生後:5～30秒)の録画時間が設定できます。

⑥録音機能

音声同時録音機能のON/OFFが選択できます。



※画像はイメージです。実際の事故とは関係ありません。